

DX推進

DXへの取り組み

昨今では少子高齢化や若者の免許取得率の低下など、自動車教習所業界を取り巻く環境は厳しさを増しております。

さらには、加速していくデジタル化の波やEVの普及、自動運転の開発など業界全体の近い将来に大きな変化が予想されます。

そのような社会全体の変化に対応していく為、藤井興発株式会社では、新しいシステム環境およびスキルを導入し、さらなるデジタル化・IT化を推進してまいりました。

主に業務の効率改善を目的として、iPadを全従業員に配布し、デジタル技術を活用して業務効率改善、残業削減対策を行うことで、新たな付加価値の創造と従業員のライフワークバランスの確保に努めてまいりました。

今後とも、DX推進を一層強化し、掲げたビジョンの実現に向けた取り組みを継続してまいります。

Google等のBIツールを活用したデータ可視化に加え、生成AIを戦略的に導入することで、分析の高度化および業務効率化を推進いたします。

可視化データとAIによる示唆を基に、お客様満足度向上に資する施策を迅速に実行できる体制を構築し、変化する業界環境や多様化するニーズに柔軟かつ機動的に対応できる経営を実現してまいります。

藤井興発株式会社
代表取締役藤井康弘

DXビジョン

弊社では経営戦略の一環としてデジタル技術の発達に伴い多様化する環境に素早く対応しデジタルトランスフォーメーション(DX)の推進を強化することによって、従業員により働きやすい環境づくりや、交通違反や交通事故を起こさない優良な運転者の育成に取り組んでまいります。

「データ主導型」の経営に舵を切り、組織全体の変革、意識改革を進めていきます。

DX推進戦略

弊社では、これまでにオンライン申込・オンライン学科教習・デジタル教習原簿等を導入することで、自動車学校業務でのDX化に取り組み、お客様の利便性向上や間接業務の効率化をはかってまいりました。

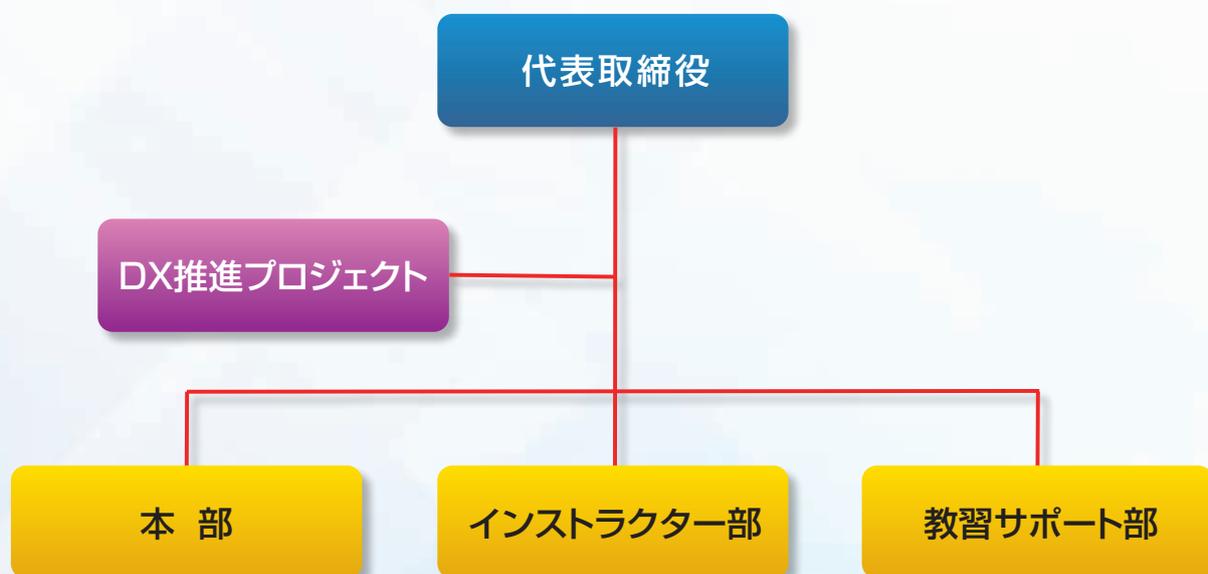
今後は、基幹システムのデータを可視化し、経営判断および業務改善に生かすことで、顧客ニーズへ迅速に対応できる体制を強化します。また、事業活動のデータ化により教習状況を的確に把握し、効果的な営業戦略の立案につなげます。

社員に配布したiPadで取得するデータを基に、社内でBIツールを制作・運用する体制を整備し、継続的な改善を推進します。

さらに、AIレコーダーによる教習内容の分析で指導品質を高めるとともに、生成AIを活用したプロモーションの高度化を図り、顧客接点の強化と企業価値向上を実現してまいります。

DX推進プロジェクトを発足し、社外でのDX推進セミナーへの参加や情報リテラシー向上の研修の実施を通して、社員がDXの重要性を理解し、積極的に関与し、業務でのDX活用方法やスキルを向上させる取り組みを進めます。

組織体制の構築



部署を横断したDX推進に取り組むプロジェクトを立ち上げます。

DX推進プロジェクト達成状況を計る指標

●DX推進により立案・実行された営業戦略・業務改善の数

年2回、各チームにおいて生成AIの活用事例や活用方法に関するプレゼンテーションを行い、知見の共有と活用レベルの向上を図ります。

その成果を安心・安全なドライバーの育成や顧客・従業員満足の向上につながる営業戦略および業務改善へと反映し、実行します。

●デジタル技術やデータ活用に精通した人材の数

デジタル技術やデータ活用に精通した人材の数を毎年1名ずつ育成することを目標とし、社外研修や人材配置を計画していきます。